



2022年2月10日

各位

会 社 名 イーレックス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 本名 均
(コード番号 9517 東証プライム市場)
問 合 せ 先 常務取締役 安永 崇伸
(TEL. 03 - 3243 - 1167)

(差替え)「2023年3月期第3四半期 決算補足説明資料」の差替えについて

2023年2月10日15時15分に開示しました「2023年3月期第3四半期 決算補足説明資料」のPDFファイルの一部に不備がありましたので、更新版を登録いたします。
なお、開示内容に変更はありません。

以上



イーレックス株式会社[9517]

再生可能エネルギーをコアに
電力新時代の先駆者になる

2023年3月期 第3四半期
決算補足説明資料

2023年2月10日

本資料は当社グループの企業情報などの提供の為に作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、弊社はその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではなく、また、弊社はその内容を更新する義務を負うものでもありません。

また、本資料に記載される弊社グループの計画、見通し、見積り、予測、予想その他の将来情報については、現時点における弊社の判断又は考えにすぎず、実際の弊社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギー政策、法令、制度、市場等の動向、弊社グループの事業に必要な許認可の状況、土地や発電設備等の取得・開発の成否、天候、気候、自然環境等の変動等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

本資料に関するお問い合わせ先

イーレックス株式会社 IR広報部

Mail: ir.info@erex.co.jp

決算概要

～2023.3期 第3四半期～

2023.3期 第3四半期実績(2022年4月~12月)

(単位：億円)	'22.3期 第1～第3四半期累計 (実績)	'23.3期 第1～第3四半期累計 (実績)	'23.3期 通期 (計画)	対前年同期 増減率	通期計画 進捗率
売上高	1,509	2,217	2,056	46.9%	107.8%
EBITDA*	150	160	—	7.0%	—
営業利益	79	143	149	80.7%	96.3%
経常利益	107	111	147	3.7%	75.9%
純利益*	79	注59	80	△24.9%	74.2%

注記：前年対比で法人税は増額(前年は繰越欠損金により法人税減額)

*EBITDA… 税金等調整前当期純利益+支払利息+減価償却費+工事負担金償却等

*親会社株主に帰属する当期純利益

2023.3期 第3四半期実績(2022年10月~12月)

(単位：億円)	'22.3期 第3四半期 (実績)	'23.3期 第3四半期 (実績)	対前年同期 増減率
売上高	682	841	23.3%
EBITDA*	56	52	△7.0%
営業利益	25	35	37.1%
経常利益	40	36	△10.5%
純利益*	35	注14	△60.9%

注記：前年対比で法人税は増額(前年は繰越欠損金により法人税減額)

*EBITDA… 税金等調整前当期純利益+支払利息+減価償却費+工事負担金償却等

*親会社株主に帰属する当期純利益

① 資源価格の高騰に伴う電力調達コスト及び燃料調達コストの増加はあったが、小売の利益改善や、卸売の活用により経常利益増(前年同期比+3.7%)

- 売上高増(前年同期比+46.9%)
- 石炭価格の想定外の高騰により糸魚川発電所は大幅に収益が悪化

② 土佐発電所、佐伯発電所、豊前発電所、糸魚川発電所で定期修繕実施

- 定期修繕後は計画通り稼働中
- 土佐発電所 設備修繕により定期修繕の日数延長

※中城発電所、大船渡発電所は定期修繕未実施

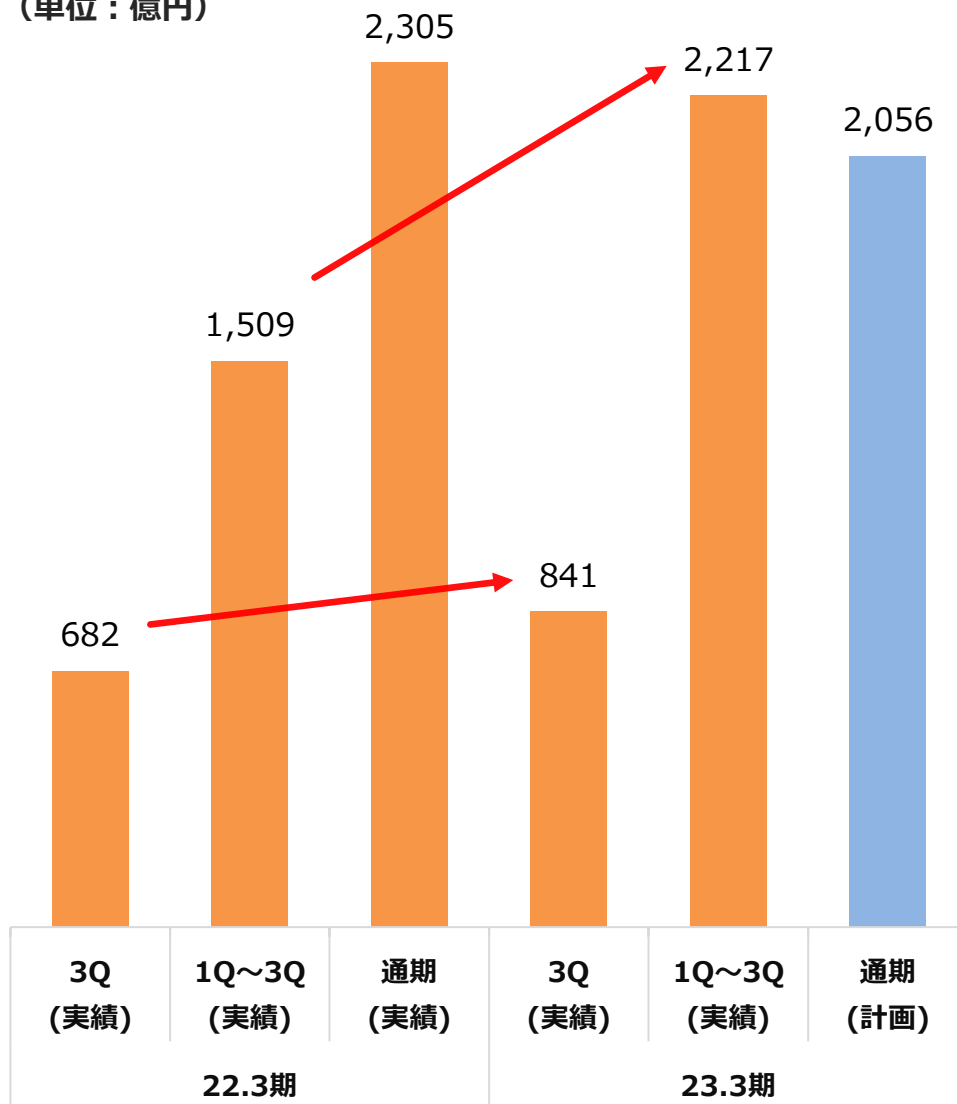
③ 小売事業 高圧小売の値上げにより利益率は順調に改善

- 高圧 値上げ提案を継続中。市場連動等サービスメニューの拡充を推進
- 低圧 使用量の多い顧客をターゲットに営業展開

④ ベトナム国でバイオマス事業を展開

- 2022年12月にハウジャンバイオマス発電所の起工式を実施
- 新設バイオマス発電所14案件(第8次電源計画(PDP8))への提案を継続中
- バイオマス燃料の開発をスタート

(単位：億円)



売上高 **2,217** 億円

前年同期比 +46.9%

高压小売

- 売上高減(同△1.3%)
- 値上により販売電力量は減少したが、販売単価は上昇

低压小売

- 売上高増(同+53.5%)
- 需要家件数増 約31万件(同+3.8万件)
- 需要家件数と販売電力量は上昇。販売単価も上昇

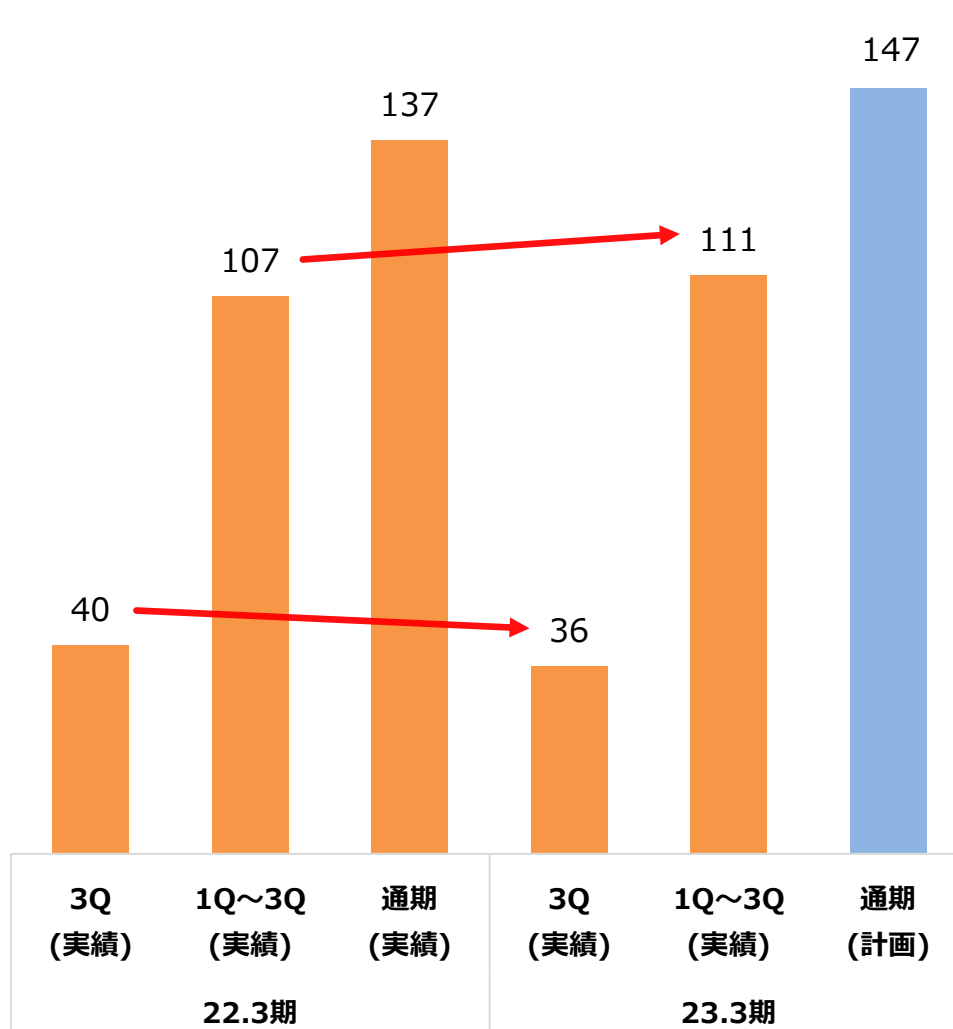
卸売

- 卸売および市場取引を積極的に活用
- 数量は減少したが、市場高騰により売上高増

豊前発電所・中城発電所

- 他社に全量売電。計画通り稼働

（単位：億円）



経常利益 **111** 億円

前年同期比 3.7%

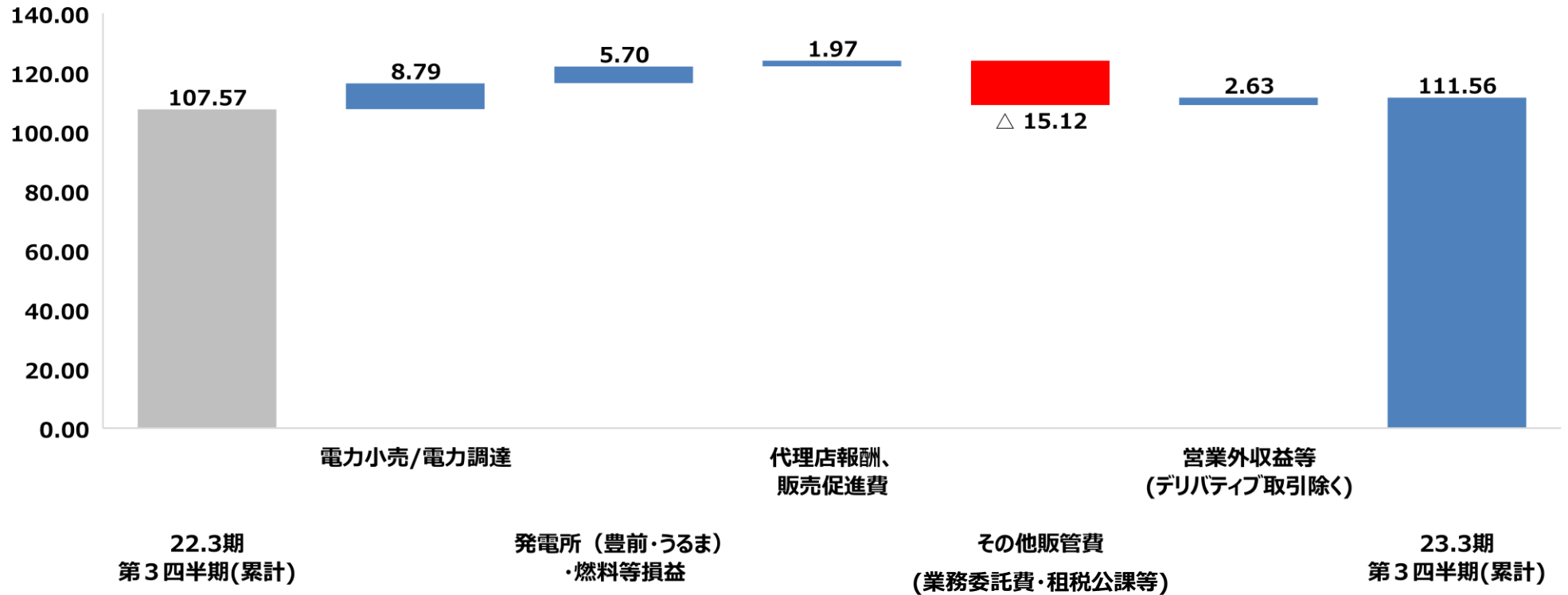
- 卸売りを積極的に活用したものの、資源価格高騰に伴う電力調達コスト及び燃料調達コストが増加
- 小売の利益率が順調に改善
- 円安影響による為替差益 (外貨預金、関係会社外貨貸付金)
- ベトナム関連事業拡大、事業税等により販管費増加

2023.3期 第3四半期（累計） 前年対比による変動要因

- 発電所の順調な稼働、外貨預金、関連会社外貨貸付金の評価替えにより為替差益の増加
- ベトナム事業展開による業務委託費及び租税公課（事業税）の増加

経常利益

(単位：億円)

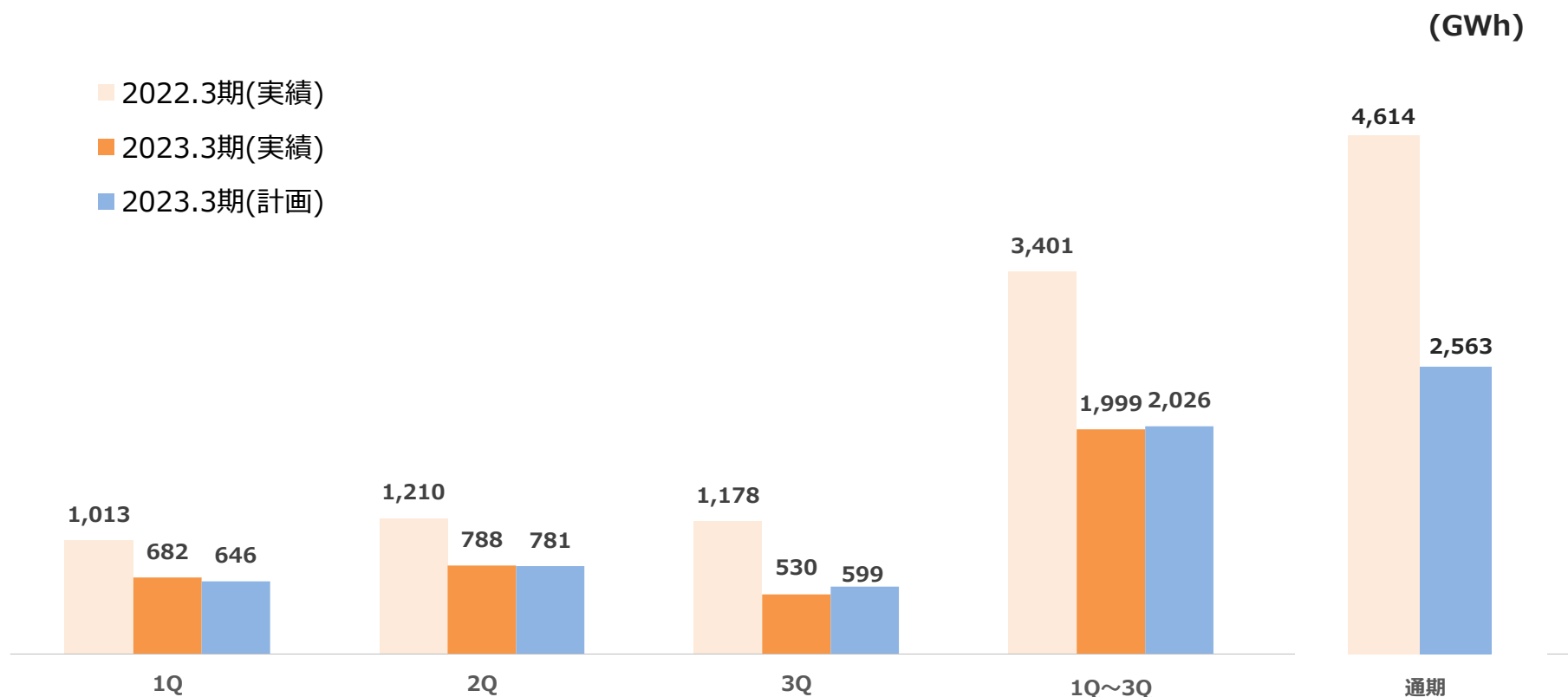


連結貸借対照表の概要

(単位：億円)	2022.3期 期末	2023.3期 第3四半期末		
		実績	増減	主な増減要因
流動資産	694	947	252	・ 社債の発行及び買掛金の増加による現金及び預金の増加
固定資産	877	862	△14	・ 減価償却による有形固定資産の減少 ・ 子会社の株式取得によるのれんの増加
資産合計	1,571	1,809	237	
流動負債	429	567	137	・ 仕入単価の上昇による買掛金の増加 ・ 追加借入による短期借入金の増加
固定負債	473	498	24	・ 社債の発行による増加 ・ 返済による長期借入金の減少
負債合計	903	1,066	162	
株主資本	498	543	45	
その他の包括利益累計額	58	67	8	・ 円安による為替換算調整勘定の増加 ・ 燃料調達の為替予約にかかる繰延ヘッジ損益の増加
非支配株主持分	111	131	20	
純資産合計	668	743	74	
現金及び預金	271	530	258	
有利子負債	535	565	29	
自己資本比率	35.5%	33.8%	△1.7%	

- 値上げ対応により販売電力量前年同期比△41.2%
- 計画通り進捗

販売電力量 推移

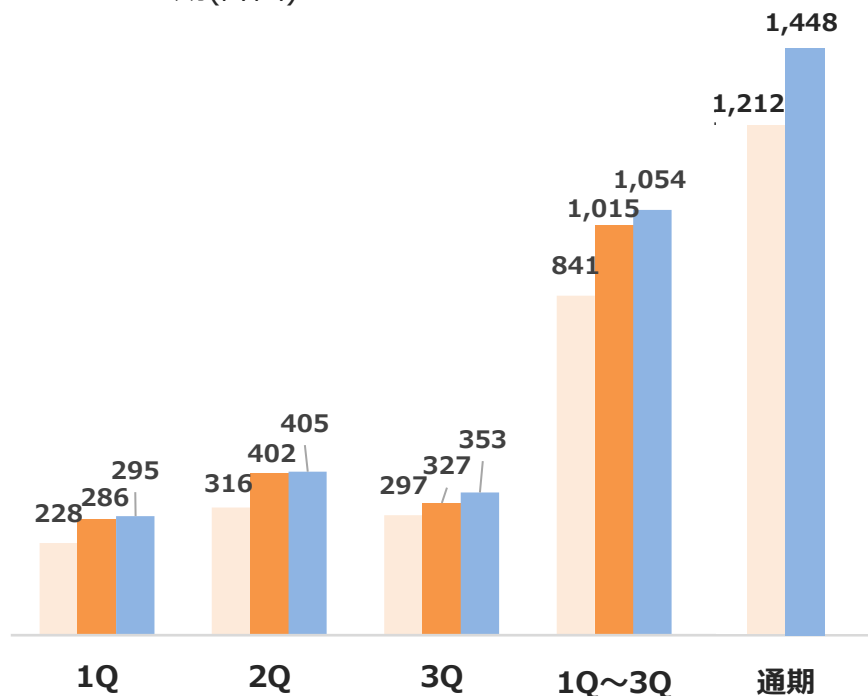


- 販売電力量前年同期比+20.7%
- 収益性の高い需要家中心の営業展開を実施

販売電力量 推移

(GWh)

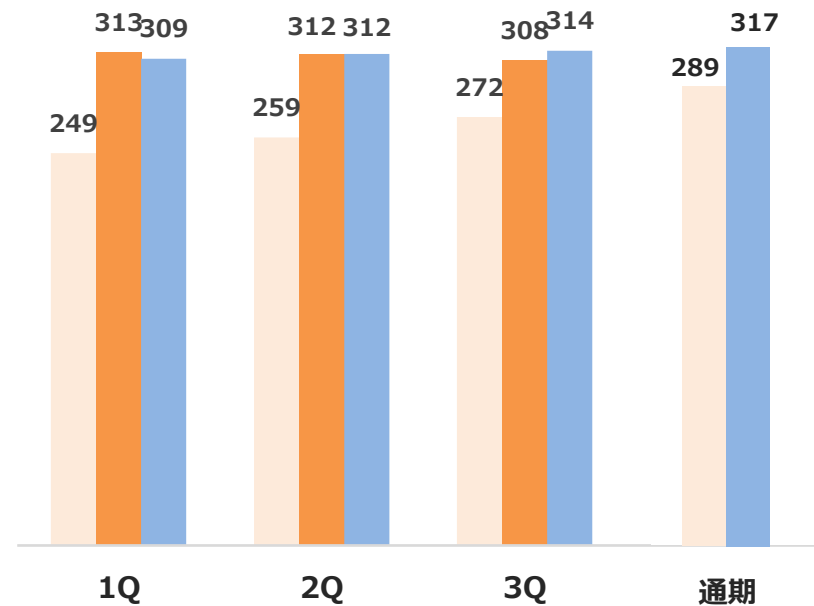
- 2022.3期(実績)
- 2023.3期(実績)
- 2023.3期(計画)



供給件数(累計) 推移

(千件)

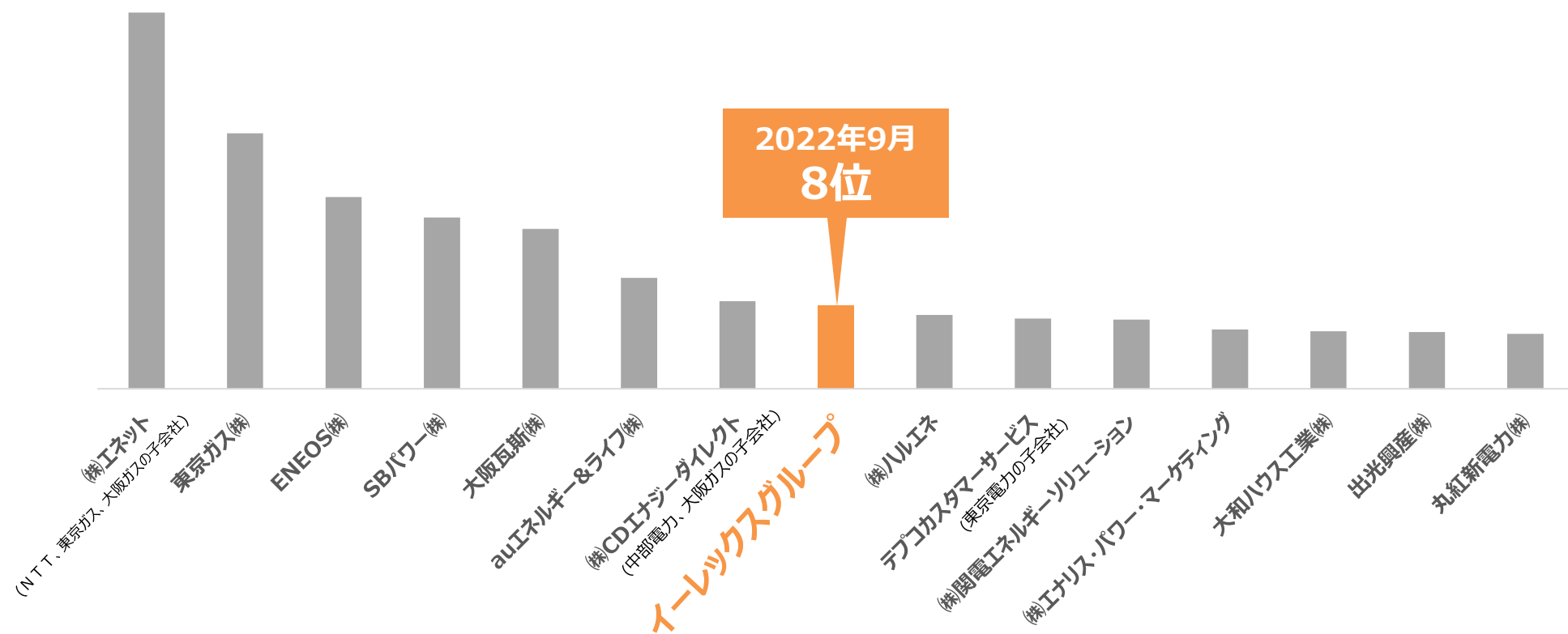
- 2022.3期(実績)
- 2023.3期(実績)
- 2023.3期(計画)



販売電力量ランキング

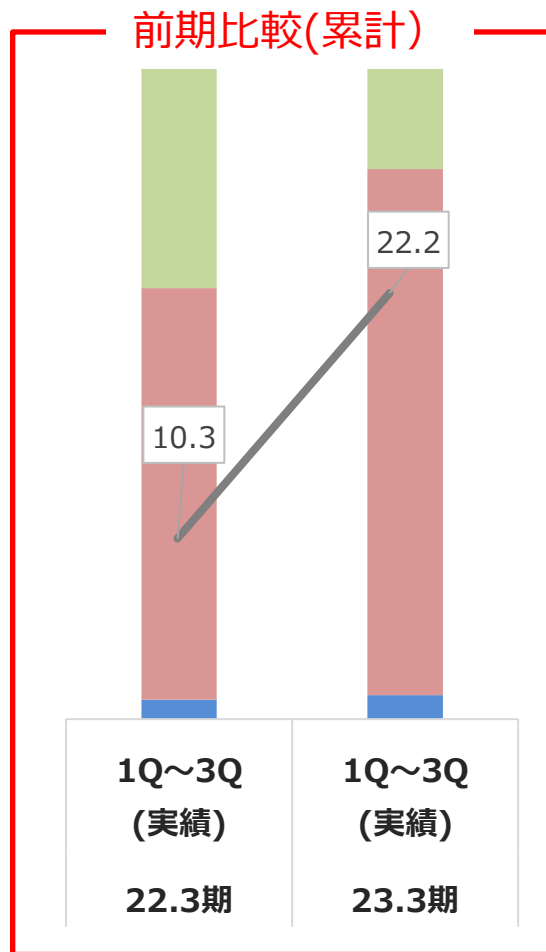
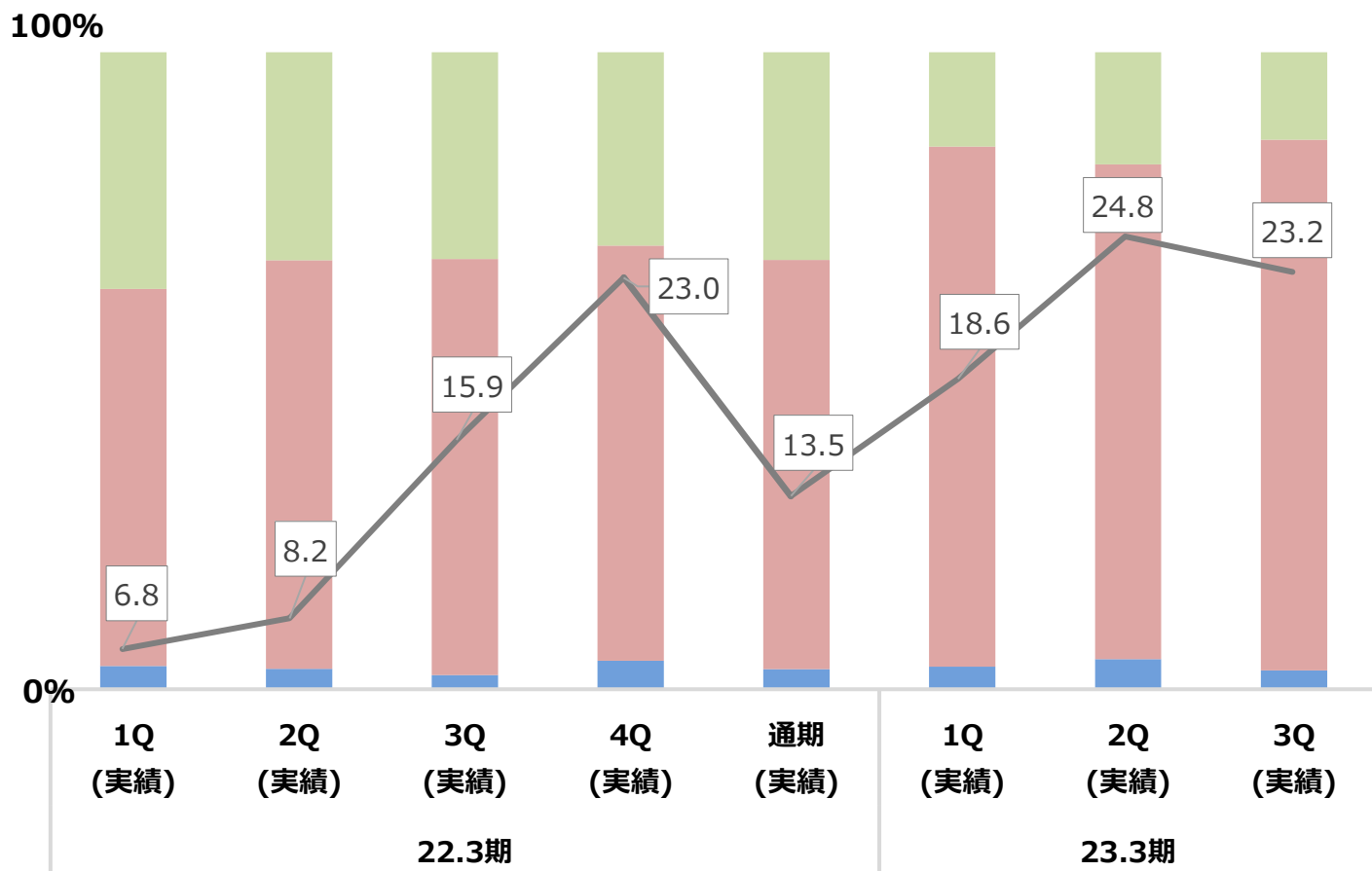
2022年9月時点の販売電力量ランキング8位

販売電力量ランキング



- 市場価格上昇局面では相対契約を増やし、下落局面では市場調達を増やすことを基本に調達
- 2022.3期から継続してJEPX価格は高く推移。前年同期比(累計) + 11.9円/kWh

調達割合・JEPX価格推移 (システムプライス)



■ 自社 ■ 相対 ■ J E P X — JEPX平均価格

ベトナム初の商用第1号基のバイオマス発電所

- ハウジャン省において20MWのバイオマス発電所建設中、2024年10月運転開始予定
- 2022年12月に起工式を実施。ハウジャン省人民委員会フォア副委員長、商工省電力再生エネルギー局ズン局長、日本大使館廣井書記官などが出席
- EPC開始済み。コンクリート基礎工事に向けて土地整備中

起工式の様子



完成予想図



事業会社名	Hau Giang Bioenergy Joint Stock Company
発電所名	ハウジャンバイオマス発電所(Hau Giang Biomass Power Plant)
建設予定地	ベトナム社会主義共和国 ハウジャン省
運転開始(予定)	2024年10月
出資会社(予定)	イーレックス(株) 51% Power Engineering Consulting Joint Stock Company 2 10% Son My Renewable Energy Joint Stock Company 19% Ninh Thuan Agriculture & Renewable Energy Joint Stock Company 9% その他燃料供給会社 11%
売電価格	8.47US cent/kWh (現地FIT制度による)
発電出力	20MW(年間発電量は一般家庭約 93,000 世帯分)
燃料	もみ殻(年間約13万 t)

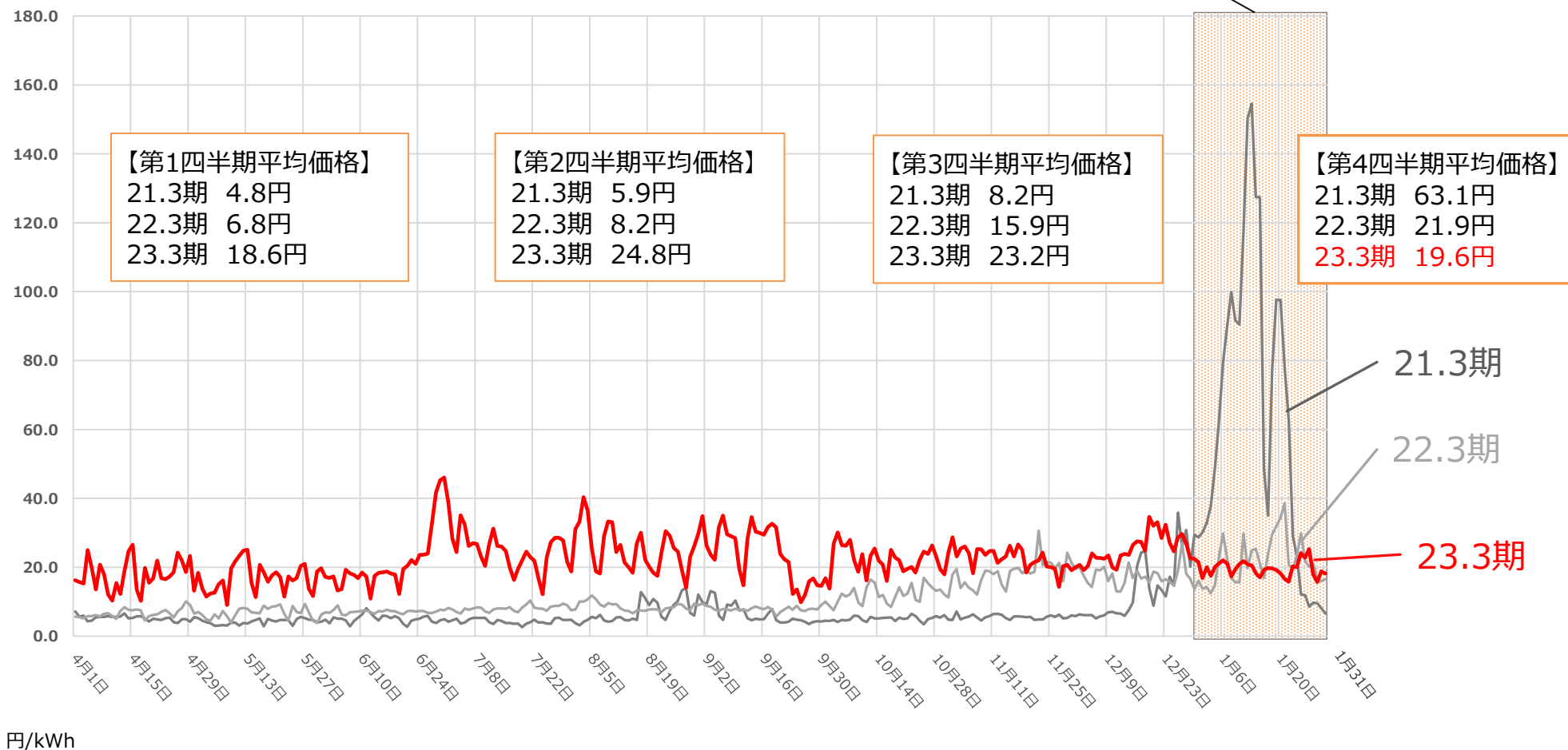
第4四半期以降の施策

- 脱炭素の経営戦略 -

燃料	国内	<ul style="list-style-type: none"> ■ 為替予約、燃料供給長期契約等の活用による燃料調達コストの低減
	国外	<ul style="list-style-type: none"> ■ ニューソルガムの栽培継続(ベトナム)、未利用バイオマス燃料調査(アジア諸国) ■ 24年完成に向けたバイオマス燃料用保管倉庫とペレット工場建設(ベトナム)
発電	国内	<ul style="list-style-type: none"> ■ 土佐発電所 2023年2月1日にFIPへ移行 ■ 石炭火力トランジション 糸魚川発電所:バイオマス燃料の混焼試験を計画中(2023年度上期予定) 他の既設石炭火力発電所:石炭価格高騰の状況を踏まえつつ協議継続中 <p>【引き続き注力中の脱炭素案件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 水素事業、Non-FIT大型バイオマス発電所
	国外	<p>【アジア諸国の脱炭素化に向けて推進中の案件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ベトナム ハウジャンバイオマス発電所建設中(PDP7)、新設バイオマス発電所14案 (PDP8) 石炭火力トランジション ■ カンボジア・台湾 水力発電所、太陽光発電所
電力小売 トレーディング		<ul style="list-style-type: none"> ■ 高圧は値上げを継続。低圧は収支増の対策を検討 ■ JEPX価格は下落傾向。相対取引・自社発電所・JEPX取引を柔軟に活用し収支の安定化を図る

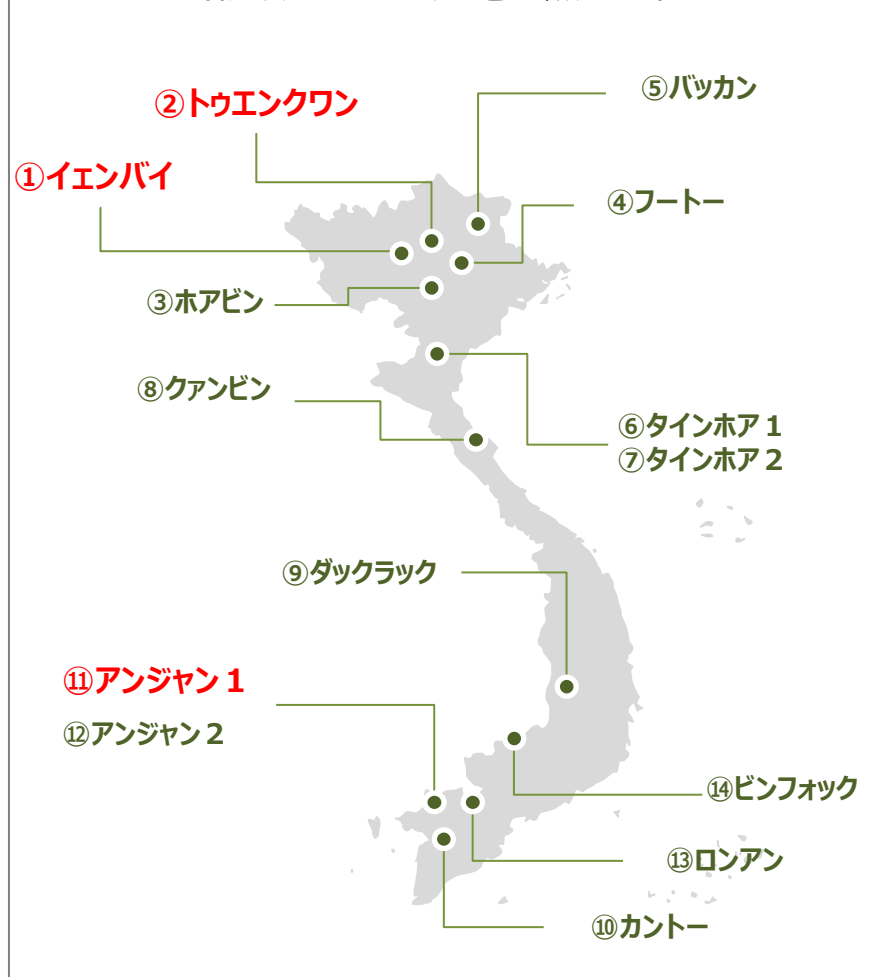
【参考】JEPXシステムプライス推移

中国等の電力需要減少、ヨーロッパの暖冬、日本政府による電力確保策等により、
23年3期第4四半期(2023年1月1日～2023年1月31日)のJEPXシステムプライスは下落傾向



- 新設バイオマス発電14案件を第8次電源計画へ織り込むための提案・検討を継続
- 先行3案件のフィージビリティスタディを開始し、建設に向けた準備を推進

〈新設バイオマス発電地点一覧〉



先行3案件の近隣において、燃料開発・収集を推進中



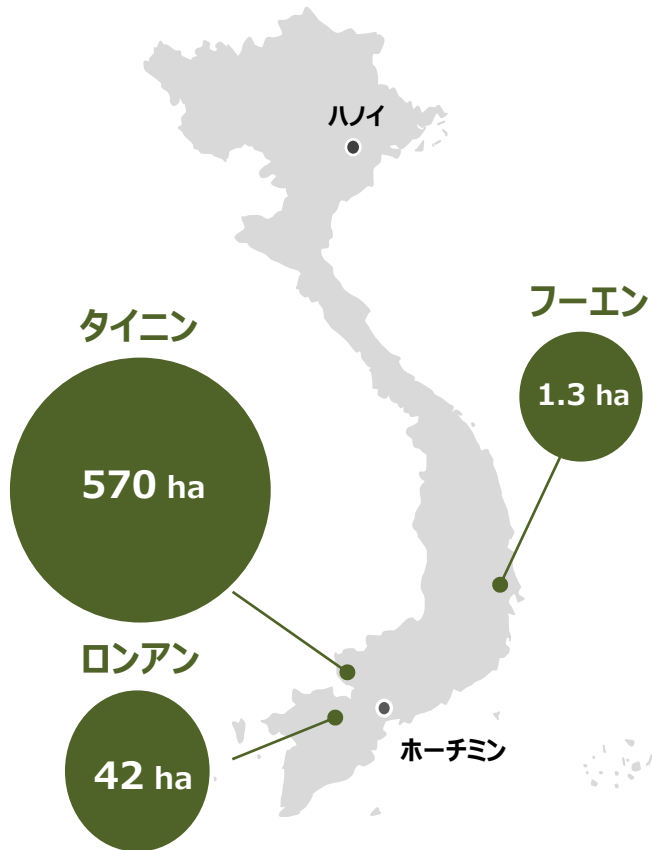
トゥエンクワン省にて収集した木質残渣



アンジャン1用のもみ殻保管倉庫

石炭火カトランジション

- ビナコムパワーホールディングスと石炭火カトランジションに向けた覚書を締結(2022年9月)
- バイオマス混焼に向けた検討を継続中(ビナコムパワー社保有の6カ所の石炭火力について協議)



タイニン省 (2023年1月上旬)



タイニン省 (播種※後2週間目)

候補地	状況
タイニン省	<ul style="list-style-type: none"> ● 100haの栽培を実施中(1月播種) ● 4月より570haまで拡大予定
ロンアン省	<ul style="list-style-type: none"> ● 42haの栽培を実施中(1月播種) ● 更なる拡大に向け農地調査中
フーエン省	<ul style="list-style-type: none"> ● 1.3haの栽培を実施中 ● 来年度以降も同農地で栽培を継続し、通年の台風影響を確認する

※耕地に作物の種子をまくこと

ereX

ENERGY RESOURCE EXCHANGE